

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 11月 11日

派遣者氏名（専門分野）	白岩 広行 （日本語学）
-------------	--------------

派遣期間	2012年 8月 5日 ～ 2012年 10月 3日
------	----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
ブラジル	サンパウロ	ブラジル福島県人会、ブラジル日本文化福祉協会図書館、サンパウロ人文科学研究所、個人宅

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

【ブラジルの各県人会について】（多くの場合日本語対応可）

ブラジルには各都道府県の県人会があり、その協力を得ることができれば調査の大きな助けになる。ホームページなどで連絡先を確認し、電話やメールで連絡をとるとよい。連絡先のわからない場合は、「県連（ブラジル日本都道府県人会連合会）」に尋ねると教えてもらえる。県人会は、日本の県庁からの連絡や「肉親探し」の相談など、日本からの問い合わせには慣れているので、連絡すれば、ひとまず用件は聞いてもらえる。その後の利用手続きなどは交渉による。なお、多くの県人会は、自前の建物やアパートの一室などで運営されているが、事務員が一人で切り盛りしていることが多く、時間帯によっては事務員が留守にしていることも多い。

【ブラジル日本文化福祉協会図書館】（基本的に日本語での対応）

サンパウロ市リベルダーヂ地区の「ブラジル日本文化福祉協会」内にあり、日系移民関係の資料が充実している。利用方法の概要は図書館のホームページを参照されたい。部外者でも利用が可能だが、貸出はできない。館内にコピー機はないので、資料のコピーが必要な場合は、当日かぎりの「一時貸出」で資料を持ち出して、近所のコピー屋でコピーを取る必要がある。一時貸出の際には、パスポート等の身分証明書を図書館のカウンターに預ける必要がある。また、ブラジルのコピー屋では客が自分でコピー機をあつかうことができず、必ず「預けコピー」の形をとることになる。そのため、大量のコピーをする場合には日本で考える以上の時間がかかるので、閉館時間（平日）に間に合うよう注意されたい。

【サンパウロ人文科学研究所】（基本的に日本語での対応）

サンパウロ市リベルダーヂ地区の「ブラジル日本文化福祉協会」内にあり、日系移民関係の研究者が集う場である。他の施設にはない資料も充実している。利用方法の概要は研究所のホームページ（日本語）を参照されたいが、特に開館時間が平日の14:00～18:00に限られる点は注意する必要がある。小さな研究所なので、利用にあたっては、ホームページ内の連絡先に事前に連絡をとったほうがよい。

【個人宅】

ブラジルには多くの日本人が移住しているため、身近に伝手のあることも多い。派遣者は、自身の出身集落の隣の集落からブラジルに渡った人に連絡をとったが、同郷ということで非常に好意的に受け入れられた。公的機関を頼らず、身近なところで伝手を探すのもひとつの手である。